



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 森下仁丹 株式会社
 コード番号 4524 URL <http://www.iintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 駒村 純一
 (氏名) 森田 真司

TEL 06-6761-1131

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,697	16.2	76	211.1	82	213.7	41	186.6
28年3月期第1四半期	2,320	6.0	24	—	26	—	14	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △79百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.05	—
28年3月期第1四半期	0.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	13,344	8,903	66.7
28年3月期	13,668	9,134	66.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,903百万円 28年3月期 9,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	— 円 銭	0.00 円 銭	— 円 銭	7.50 円 銭	7.50 円 銭
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△0.2	50	△6.4	50	△14.4	20	△53.0	1.00
通期	11,000	5.4	450	14.9	450	10.2	300	△20.2	14.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	20,750,000 株	28年3月期	20,750,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	409,371 株	28年3月期	409,371 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	20,340,629 株	28年3月期1Q	20,342,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月4日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、足踏み状態が続いております。個人消費は、物価上昇率の低下によって実質所得が押し上げられているものの、名目賃金の伸び悩みや消費者マインドの悪化などから横ばい圏の推移が続いております。そして前年同四半期はうるう年による押し上げの反動、熊本地震の影響、円高の顕在化による輸出の減少などから小幅なマイナス成長となる事が見込まれております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、食品の新たな機能性表示制度が始まり大きな変革期を迎えたものの、一方では相次ぐ異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競争が激化し、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして昨年6月からの機能性表示食品の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は2,697百万円と前年同四半期と比べ376百万円の増収となりました。

利益面においては、売上総利益は1,370百万円と前年同四半期と比べ202百万円の増益となりました。当第1四半期は販売促進費等を抑え気味にし、かつ効果的なプロモーション活動を実施したことや人件費の圧縮等に努めた結果、営業利益は76百万円と前年同四半期と比べ51百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は82百万円と前年同四半期と比べ55百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は41百万円と前年同四半期と比べ27百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、昨年6月からの機能性表示食品の新発売などにより売上は好調に推移し、その結果、ヘルスケア事業の売上高は1,839百万円と前年同四半期と比べ207百万円の増収となりました。

損益面では、売上高が好調に推移する中、回転率の悪い商品を評価減するなど在庫の整理をした結果、セグメント損失は111百万円と前年同四半期と比べ26百万円の減益となりました。

②カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルが引き続き順調に推移した事により、カプセル受託事業の売上高は854百万円と前年同四半期と比べ170百万円の増収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は177百万円と前年同四半期と比べ76百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、13,344百万円と前連結会計年度末と比べ323百万円(2.4%)の減少となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,773百万円と前連結会計年度末と比べ35百万円(0.7%)の減少となり、固定資産が8,570百万円と前連結会計年度末と比べ287百万円(3.2%)の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、回転率の悪い商品の評価減等によるたな卸資産の減少によるもので、固定資産の減少の主な要因は、株価下落による投資有価証券の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、4,441百万円と前連結会計年度末と比べ92百万円(2.0%)の減少となりました。負債の内訳は、流動負債が2,871百万円と前連結会計年度末と比べ443百万円(18.3%)の増加となり、固定負債が1,569百万円と前連結会計年度末と比べ535百万円(25.4%)の減少となりました。これは、長期借入金の約定返済による1年内返済予定額の増加により、固定負債から流動負債へ490百万円が移行した事が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は8,903百万円と前連結会計年度末と比べ231百万円(2.5%)の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586	1,602
受取手形及び売掛金	1,323	1,434
商品及び製品	902	762
仕掛品	372	367
原材料及び貯蔵品	425	383
その他	210	233
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	4,809	4,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,153	2,111
機械装置及び運搬具(純額)	1,606	1,538
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	7	4
その他(純額)	288	270
有形固定資産合計	6,274	6,143
無形固定資産		
	216	216
投資その他の資産		
投資有価証券	2,218	2,051
その他	149	160
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,367	2,211
固定資産合計	8,858	8,570
資産合計	13,668	13,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,130	1,084
1年内返済予定の長期借入金	330	737
未払法人税等	72	60
賞与引当金	167	220
返品調整引当金	58	58
売上割戻引当金	25	22
ポイント引当金	40	40
設備関係支払手形	56	44
その他	549	603
流動負債合計	2,428	2,871
固定負債		
長期借入金	867	377
繰延税金負債	734	690
退職給付に係る負債	501	500
その他	1	1
固定負債合計	2,105	1,569
負債合計	4,533	4,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,000	3,890
自己株式	△137	△137
株主資本合計	8,364	8,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	644
退職給付に係る調整累計額	4	4
その他の包括利益累計額合計	770	649
純資産合計	9,134	8,903
負債純資産合計	13,668	13,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
売上高	2,320	2,697
売上原価	1,152	1,326
売上総利益	1,168	1,370
販売費及び一般管理費	1,143	1,294
営業利益	24	76
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
事業譲渡益	-	5
その他	1	1
営業外収益合計	7	12
営業外費用		
支払利息	4	3
その他	2	3
営業外費用合計	6	6
経常利益	26	82
税金等調整前四半期純利益	26	82
法人税、住民税及び事業税	15	43
法人税等調整額	△4	△3
法人税等合計	11	40
四半期純利益	14	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	41

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	14	41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	△120
退職給付に係る調整額	4	△0
その他の包括利益合計	225	△120
四半期包括利益	240	△79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	△79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,632	683	2,315	4	2,320	—	2,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	71	71	△71	—
計	1,632	683	2,315	76	2,392	△71	2,320
セグメント利益又は損失(△)	△84	101	17	6	24	—	24

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,839	854	2,694	3	2,697	—	2,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	70	70	△70	—
計	1,839	854	2,694	73	2,767	△70	2,697
セグメント利益又は損失(△)	△111	177	66	9	76	—	76

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より一部の製品についてセグメント区分を変更しております。なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。